

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|-----------|------------|
| 事業所番号 | 3570200703 | | |
| 法人名 | 医療法人 仁心会 | | |
| 事業所名 | グループホーム あっぶる | | |
| 所在地 | 山口県宇部市昭和町1丁目9-3 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年11月28日 | 評価結果市町受理日 | 平成24年7月12日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク | | |
| 所在地 | 山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内 | | |
| 訪問調査日 | 平成23年12月8日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人母体が医療機関であり、24時間の医療連携がとられ、訪問看護師の派遣もあり健康管理面ではご利用者やご家族の安心、安全が守られています。
1階に託児所、隣に小規模多機能型居宅介護施設、近所に幼稚園があり、散歩中に交流を持つことができます。隣接の公園や寺院、お地蔵様への散歩や花見などが楽しめ、環境に恵まれています
地域との交流の中で、その人らしさを大切に、優しさとぬくもりのあるケアを提供できるよう、ご利用者と接するスタッフが楽しい雰囲気を作り、ご利用者が笑顔で過ごせる時間が長くなるよう支援しています。人と人としてふれあい、一緒に生活していく中でなじみの関係・信頼関係を築き、“あなたが居てよかった”“あっぶるが好きよ”と言ってもらえるグループホームあっぶるでいたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営推進会議で家族や地域の方々と一緒に、災害や避難訓練、口腔ケア等の勉強会をされたり、緊急時の協力体制についての検討をされるほか、自治会の総会でも避難場所について話し合いをされたり、市の出前講座を利用されるなど、地域との連携を図られ、協力体制を築いておられます。小学4年生の児童、担任の先生、校長先生と利用者の交流や、地域の行への参加、朗読や紙芝居、歌等のボランティアの受け入れなど、地域の一員として交流されています。家族の意見や要望を聞く機会を設けるよう努めておられ、来訪者用の駐車場の整備や行事の企画を一緒にされるなど、意見を運営に反映しておられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|---|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 57 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 64 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 58 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 65 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 59 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 60 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 69 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 63 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | ①日報のバインダーやスタッフルームの目の届く位置に掲示している。 ②「地域の中で、その人らしさを大切に」をふまえ、独自の理念を作成し、玄関・スタッフルームに掲示したり、名札や日報のバインダーの裏に記載することで職員間の共有を図っている。また、ミーティング時に復唱し、実践に向けて取り組んでいる。職員採用時には理念を伝え理解してもらうようにしている。 | 事業所と地域との関係性を大切にしたい理念を管理者と職員は共有しており、地域の認知症の理解へつなげるなど実践につなげている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している | ①自治会への加入で回覧板のやり取りや校区内行事(納涼祭、芸能祭、餅つき等)に参加させていただいている。簿連亭あへの来訪や近隣の小学生も遊びに来られている。 ②自治会に加入し回覧板を回したり、校区の行事(納涼祭・区民芸能祭・餅つき等)や小学校の行事等への参加、地域の落ち葉清掃、ボランティアの来訪を受け入れている。また、近隣の小学生が遊びに来るなど、地域の人々との交流が図れるよう努力している。 | 自治会に加入しており、自治会総会では事業所を避難所とすることなど、事業所と地域の連携について話し合っている。どんど焼きなど地域行事に参加し、朗読、紙芝居、歌、体操などのボランティアを受け入れている。職員から一人の小学生への呼びかけをきっかけに、自治会長の協力を得て、クラス全員、担任の先生、校長先生との交流の輪を広げ、利用者と一緒に楽しみながら小学生と交流するなど、事業所が地域の一人員として日常的に交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ①②校区の自主防災の避難場所として利用して頂ける事をお伝えしてある。また、自治会長様に独居老人の方にも立ち寄ってもらえるよう、お声かけをお願いしている。 | | |
| 4 | (3) | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | ①管理者が職員に評価の意義を説明し、外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に努めている。 ②管理者が職員に評価の意義を説明し、ガイド集を活用しながら、職員全員で自己評価を記入し、ミーティングで話し合い、管理者がまとめている。自己評価がケアについての振り返りや見直しの機会となっている。外部評価結果はミーティングで話し合い、目標達成計画に沿って1年かけて改善に取り組んでいる。 | 全職員で自己評価に取り組み、ミーティングで話し合いまとめている。目標達成に向けて、利用者の思いの把握方法を検討し、記録の改善を図るなど、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | (4) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ①自己評価の内容、外部評価の結果を運営推進会議で報告し、参加メンバーと話し合いを行い意見をサービスに活かすようにしている。 ②自己評価の内容、外部評価の結果を運営推進会議で報告し、参加メンバーと話し合いを行い意見をサービスに活かすようにしている。また、自治会長、民生委員に会議のメンバーに入って頂き、意見を取り入れさせて頂いている。 | 2カ月に1回開催し、現状報告、外部評価結果の報告をし、避難訓練等について話し合っている。同時に合同勉強会を4回開催し、事業所や利用者への理解を得るための働きかけをしている。 | |
| 6 | (5) | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | ①ご利用者で、社会福祉課の担当者がいらっしゃる方があり、その方の件で相談に応じていただいている。 ②介護保険課、高齢福祉課、地域包括支援センター、社会福祉課などに相談し、アドバイスを受けながらサービスの質が向上するよう努めている。 | 社会福祉課担当者は年2回来訪し、相談は電話でしている。介護保険課や高齢福祉課にも出向き、事業所の実状などを相談し、情報交換をしている。地域包括支援センターとはケース事例の相談をするなど協力関係を築いている。市の出前講座を利用し、高齢者虐待関連法や気象災害対策について学習している。 | |
| 7 | (6) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ①身体拘束に関するマニュアルや「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」やスピーチロックやドラッグロック等について職員勉強会で学び、抑制や拘束の無いケアに取り組んでいる。 ②身体拘束に関するマニュアルや「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」やスピーチロックやドラッグロック等について職員勉強会で学び、抑制や拘束の無いケアに取り組んでいる。県の身体拘束ゼロ派遣相談も受け、アドバイスを頂いた事を取り入れながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | マニュアルを作成し、計画的に研修しており、身体拘束ゼロ派遣相談事業のアドバイスを受けて、全職員が理解して、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関の施錠はしていない。 | |
| 8 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | ①市の職員に来て頂き職場研修で学んだ上で、虐待防止に努めている。特に、スピーチロックに気を付けるように職員に伝えている。 ②高齢者虐待防止関連法や対応の仕方について市の職員に来て頂き職場研修で学んだ上で、虐待防止に努めている。また、資料をいつでも閲覧できるようスタッフルームに置き、遵守し未然防止できるよう常に意識している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | ①市の職員に成年後見制度の勉強会をして頂いた。3年前に、金銭管理を権利擁護事業で行うご利用者をご入居され制度を学ぶ機会となった。 ②市の職員に成年後見制度の勉強会をして頂き、概要や手続き等の理解に努めている。また、ご家族にも勉強会の案内を送付し、参加の呼びかけをした。 | | |
| 10 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ①契約する際は、契約書・重要事項説明書を一一つ説明したうえで、疑問点や不安な点をお聞きし、将来の事も含め、重度化や看取りについての対応等できること、できないこともご説明し同意を得るようにしている。 ②契約する際は、契約書・重要事項説明書を一一つ説明したうえで、疑問点や不安な点をお聞きし、将来の事も含め、重度化や看取りについての対応等できること、できないこともご説明し同意を得るようにしている。また、契約の改訂をする際は、家族会等で詳しくご説明し、納得した上で同意して頂いている。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ①ご利用者には、折に触れて会話していく中で、意見・不満・苦情をお尋ねし、言葉や態度からその思いを察する努力をしている。ご家族にはケアプラン作成時等に、じっくりお話をお聞きしている。 ②ご利用者には、折に触れて会話していく中で、意見・不満・苦情をお尋ねし、言葉や態度からその思いを察する努力をしている。ご家族には運営推進会議や家族会などの来訪時に、要望等がないか聞くように心がけている。意見箱を設置したり、相談や苦情を受け付ける外部機関を玄関に掲示し紹介したり、第三者委員を設けたりして意見を出しやすいような配慮をしている。苦情処理マニュアルも準備している。 | 相談、苦情の受付担当者、外部機関、第三者委員を明示し、苦情相談手続きを定め周知している。家族会や来訪時に聞くように努めるほか、全家族へ運営推進会議への案内をして、出欠の返事と一緒に意見や要望を聞くように努めている。散歩の機会を増やしたり、来訪者用駐車場の確保等運営に反映させている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | (8) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ①日々の申し送りやミーティング等で意見を聞けるよう努め、運営者に相談が必要な時は、報告している。 ②ミーティングの際に職員に意見を聞き、管理者が代表で運営者に伝え、反映してもらえるよう呼びかけている。新しいご利用者の受け入れ時は、全職員で検討し決定している。また、職員の配置異動は減多になく、ご利用者へのダメージを最小限にできるよう職員も配慮している。 | 代表者や管理者は、月1回のミーティング時に職員の意見や提案を聞き、ユニット合同家族会を開催するなど、運営に反映させている。 | |
| 13 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | ①日報に勤務を記録し、毎朝、運営者にFAXし勤務状況を把握して頂いている。職場環境・条件の整備に努めておられる。 ②日報に勤務を記録し、毎朝、運営者にFAXし勤務状況を把握してもらっている。セミナーパークで行なわれる研修や同系列の施設との合同研修を行い交流を図っている。また、休み希望を受け入れ、習い事等がしやすい環境を作り、ストレス緩和してもらえるよう努めている。 | | |
| 14 | (9) | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ①勤務状況を把握しておられ、研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めておられる。 ②職員の経験やレベルに合った研修を受講してもらおうようにしている。研修に参加した際は報告書を作成してもらい、全職員が回覧し、情報を共有している。訪問看護師や市職員をお呼びし、勉強会を行い、職員の質の向上に努めている。また、職員の資格取得も支援している。 | 年間研修計画を作成し、年4回は運営推進会議時に地域住民、家族等と一緒に学集会を実施している。事業所独自の勉強会を月1回実施し、外部研修は勤務の一環として段階に応じ受講の機会を提供し、受講後は復命報告をして情報を共有している。資格取得に対して情報を提供し、勤務変更等の配慮をしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ①②年に1回、同系列の施設との合同の勉強会を実施し交流も図っている。また、(社)山口県託老所・グループホーム協会に入会し、研修に参加した際に情報交換や連携をとったりしている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 16 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ①入所されるまでに、1度お茶等を一緒にしていただく機会を作るか、面会に行かせていただくかして受け止める努力をしている。 ②入所される前に1度面談し、ご利用者の話をお聴きし、思いを受けとめ、信頼関係が築けるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ①入所申し込みを書きに来られた際には、ご家族の要望や思いをお聴きするようにしている。 ②入所申し込みを書きに来られた際には、ご家族の要望や思いをお聴きするようにしている。入所に至るまでの間にも電話や面談等でよく話し合い、思いを受け止めるようにしている。 | | |
| 18 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ①ご本人とご家族のお話の中より他のサービスも必要と感じた時には、お話し、必要な支援をするよう努めている。 ②初めからサービスを絞り込むのではなく、あらゆるサービスをご説明する等して対応している。必要に応じて、他のサービス機関も紹介したりしている。また、これまでの経緯やご家族、ご本人の思いを傾聴し、必要な支援をするよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ①食事の準備を通して、相談したり、教えていただいたり、また、ご本人の昔話で他者も含めて談笑する等の関係ができています。 ②らっきょうや梅、しその漬け方等を教えて頂いたり、日常生活の中においても生活の知恵を習い、一方的な関係になることがないよう、共に支えあえる関係づくりに努めている。ご利用者から元気づけの声かけを頂ける等で、職員がご利用者に支えられる場面が日常の中にある。 | | |
| 20 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ①日常の中での出来事を、主に、来訪されたご家族へ報告する中で、一緒に支えて頂いている思いを伝えている。 ②ご利用者の日常の様子、健康状態をこまめにお伝えし、情報交換している。ご家族も苑外レクリエーションの際は誘いしたりし、一緒に喜怒哀楽を共にし、共に支え合える関係作りに努めている。 | | |
| 21 | (10) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ①事業所近辺の理容院を利用したり、公園やお地蔵様にお参りしたり、地域の人々と交流を図る機会をへの参加に努め、馴染みの場所になるように支援している。 ②事業所近辺の理容院を利用したり、公園、お地蔵様にお参りしたり、地域の人々との交流を図る機会を作り、馴染みの場所になるように支援している。また、地域に暮らす馴染みの知人とも自治会の行事の際等にふれあって頂いている。入所前の友人との外出や、手紙のやり取りも支援している。 | 馴染みの美容院や時計店の利用の支援や、昔からの付き合いを大事にし、地蔵様参りや地域の盆踊りに参加して地元の馴染みの人と交流している。友人と外食したり、絵手紙や年賀状のやりとりの支援など、馴染みの人や場所との関係継続に努めている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ①ご利用者の席の位置に配慮したり、職員がご利用者同士の間に入って、コミュニケーションを計っている。愛書の良いご利用者と職員が協力して、孤立されないよう声かけをしている。 ②席などを決める際はご利用者同士の関係も考慮し、職員が調整役となって支援している。ご利用者が孤立してしまわないよう心身の状態や気分など注意深く見守り、ご利用者同士も助け合いの中で日々の支え合いができるよう努めている。 | | |
| 23 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ①当施設より、入院や他施設へ行かれた方から相談を受けた際には、一緒に考え、できるだけ支援にあたっている。 ②サービス利用が終了された方にご利用者が手紙を出すのを支援したり、写真を送ったりしている。転居される際は、習慣や好み等の情報を提供し、移り替えのダメージを最小限に食い止められるよう努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 24 | (11) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ①日々の関わりの中の言動から把握に努め、家族の意向もうかがいながら、本人本位での生活を検討するよう努めている。 ②ご利用者とゆっくり話をする時間を持ち、一人一人の希望、意向の把握をするよう努めている。 | 日々のかかわりの中で聞いたことや気づいたことを介護記録に記載し、個人シートにまとめて、一人ひとりの思いや意向を、職員は意識して聞くように努めている。 | |
| 25 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ①入所前の関係者などから頂いた情報を職員間で共有している。ご家族、またご本人よりできる限り情報を集めて、努力している。 ②本人自身の語りやご家族、入所前の関係者などから頂いた情報を職員間で共有している。利用開始後も折に触れ、ご本人やご家族にどんな生活環境であったか等をお聞きし把握に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ①過ごし方や心身状態をしっかり観察し、総合的に把握した上で、食器洗い、おぼん拭き、洗濯干し・たたみ等でできる力を発揮して頂けるよう支援している。 ②過ごし方や心身状態をしっかり観察し、総合的に把握した上で、食器洗い、おぼん拭き、洗濯干し・たたみ等でできる力を発揮して頂けるよう支援している。また、新たな“できる力”を発見できるよう努めるとともに、みつけた“できる力”は職員間で共有し、活かして頂けるよう支援している。 | | |
| 27 | (12) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ①日々の関わりを通して、ご本人の気持ちをくみ取るようにし、ご家族にも報告し話を聞いてから、職員全員がミーティングで意見やアイデアを考え、それを取り入れている。 ②介護計画を立てる際、ご本人、ご家族に要望をお聞きし反映するようにしている。また、月一回のミーティングの際にケアカンファレンスを行い、見直しの必要性がないかも含め話し合い、全職員の意見を反映するようにしている。変化が生じた場合は、ご本人やご家族、スタッフと話し合い対応している。 | 本人や家族の希望を聞いて月1回カンファレンスを行い、3カ月に1回モニタリングをして、主治医や職員、関係者の意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | |
| 28 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ①個別にファイルを用意し、食事量・水分量・排泄状況・日々の暮らしの様子、特に日常と違った様子は必ず記入するようにしている。ご本人の言動(つぶやき)をノートに記入し、思いや意向に添えるようにしている。 ②ケアプランにあがっている事柄に関する情報を重点的に記録するように心がけ、介護計画に活かせるよう努めている。個別にファイルを用意し、食事量・水分量・排泄状況・日々の暮らしの様子や言動(つぶやき等)や思い、エピソード等を必要に応じて記録している。また、勤務開始前に業務日誌の確認をするよう義務づけており、全職員がご利用者の状態の把握と情報共有に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ①医療連携体制、在宅総合診療を活かし24時間安心して暮らして頂けるように支援している。買い物やペットショップ見物、お地藏様参り等、ご本人の希望に添って同行している。また、他科の受診同行や入院時の準備等も支援している。 ②医療連携体制、在宅総合診療を活かし24時間安心して暮らして頂けるように支援している。また、ニーズに対して柔軟に対応していく事に努め、通院や理美容院への送迎、入院時の洗濯の代行などの支援を行っている。 | | |
| 30 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ①運営推進会議に、自治会長、民生委員、消防署の方に参加して頂いている。消防署の方には、避難訓練や講話をしていただいている。また1か月に、定期的に来訪して下さるボランティア団体が2件ある。 ②地域との連携を密にとるために、消防の方や自治会長、民生委員にも運営推進会議に参加して頂いている。ご利用者を昔からご存知の方が民生委員をされており、会議や行事の際に会話をしたりし、支援して下さっている。また、校区の小学生や先生に訪問してもらい、歌や踊り、ゲーム等にご利用者を楽しませて頂いている。 | | |
| 31 | (13) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ①本人、ご家族の希望を大切にし、かかりつけ医の受診支援や協力医との連携によって、適切な医療が受けられるよう支援している。 ②現在、ご本人とご家族が、協力医療機関ではないかかりつけ医への受診希望をされている方がおり、(ご家族と)管理者が受診同行し、情報のやり取りを行っている。必要に応じて、認知症専門医や眼科、皮膚科、歯科、整形外科にも受診援助を行っている。バイタル表をコピーしたり、体調を書類に記入したりし、ご家族、医師、スタッフの情報交換はできている。ご家族の希望もお聞きし、可能な限り、入所以前に通院歴のある病院への通院を支援している。受診結果の報告も、ご家族のご希望に合わせてこまめに行っている。 | 協力医療機関、皮膚科、歯科の往診が月2回あるほか、希望するかかりつけ医には家族と管理者が同行して受診している。受診時にはバイタル表や体調状況記録を提供し、受診結果は介護記録に記入するなど、情報を共有して適切な医療が受けられるよう支援している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ①訪問看護師が月2回来訪し、健康管理を行っている。ご利用者の体調不良や少しでも気になることが気軽に相談でき、適切な対応ができています。 ②訪問看護師が月2回来訪し、健康管理を行っている。体調不良時などには気軽に相談し、指示を頂いたり、状況によっては来訪してもらっている。また、看護資格を持った職員が3名いるので、気軽に相談ができています。 | | |
| 33 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ①入退院先の担当看護師や医師との相談に努め、退院時期等も含め、ご家族と情報交換したり、相談を行えるようにしている。 ②入院された際は、職員がお見舞いに行き、ご本人に安心していただけるよう支援する準備がある。また、医療関係者やご家族と情報交換したり相談を行えるよう備えている。 | | |
| 34 | (14) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ①ご家族にはホームの方針を説明し、重度化した場合には、在宅総合診療時等に来て頂き、医師と今後の治療について十分話し合っただき、本人とご家族の思いや意向に沿えるよう努めている。 ②指針があり、入所時にご説明している。状況が変化した場合はその都度、ご本人やご家族と話し合っている。支援していく中で、不安なことや困難なこと等を職員全員で率直に話し合うようにしている。重度化した場合も、事業所の力量を見極めながら、ご家族やご本人の意向を最大限聞き入れられるよう取り組んでいる。 | 重度化した場合の指針があり、入居時に説明し、状況の変化に応じて、本人、家族、関係者と話し合い方針を共有している。他施設への移設等も踏まえて関係者と共にチームで支援するよう取り組んでいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|---------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | (15) | ○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。 | ①訪問看護師に、意識消失時の対応について実技訓練を指導していただき、緊急時に対応できるようにしている。また、事故報告書やひやりはつとを全職員に回覧し、情報を共有し、再発防止と事故を未然に防ぐようにしている。 ②事故報告書やひやりはつとは職員全員に回覧し、情報を共有し、再発防止と事故を未然に防ぐように努めている。訪問看護師をお呼びし、意識消失時の対応についてマニュアルに基づいて実技訓練を行い、緊急時に対応できるよう訓練している。また、緊急時に協力医療機関へ安全かつ迅速に搬送できる体制を整えている。 | ヒヤリハット・事故報告書に原因や改善策を記入し、職員全員で共有して一人ひとりの事故防止に取り組んでいる。事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、緊急連絡網を整備している。初期対応等の定期的な訓練は実施していない。 | ・応急手当や初期対応の定期的訓練の実施 |
| 36 | (16) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | ①年2回、火災時の夜間想定避難訓練を、消防署の協力を得て実施している。避難場所は日頃から確認している。 ②年2回、火災時の夜間想定避難訓練・避難経路の確認を消防署の協力を得て、行っている。自治会長様には緊急通報装置に自宅の電話番号を登録させて頂いたり、他の自治会役員の方にも協力を呼び掛けて頂いたり協力体制がある。また、風水害、地震時の対応の職員勉強会を行い、対応について学んだ。火災、風水害、地震時用のマニュアルがある。 | 災害時対応マニュアルがあり、年2回、消防署の協力を得て夜間想定避難訓練、消火器の使用訓練、通報訓練等を行っている。運営推進会議で、参加者と共に気象災害について勉強会を行ったり、緊急時の通報や避難場所についての話し合うなど、地域との協力体制を築いている。 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 37 | (17) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ①理念にもあるように、一人ひとりの個性を尊重し、プライバシーを損ねないように職員間で協力して対応したり、ミーティングで話し合い気をつけている。 ②人前であからさまに介護や誘導の声かけをしたりして、自尊心を傷つける事がないように言葉かけや対応に配慮している。また、職員勉強会を行い、ご利用者のプライバシーに関する事を他者に話さないよう努めると共に、日常的に確認と改善に取り組んでいる。記録物等は事務所の所定場所に保管して個人情報漏洩防止に努めている。 | 利用者のその人らしさを尊重しプライバシーを確保するよう勉強会を実施して、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。気になる対応はミーティングで管理者が指導し、新任職員にはその場で指導している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ①日々の生活の中で、レクリエーションや衣服、出かけたい場所等、ご利用者の思いや希望を話せるような雰囲気作りを心がけて、声かけをするようにしている。 ②ご利用者に自己決定してもらえるよう、複数の選択肢を用意したレクリエーションやお誕生日の食事メニュー、着る寝間着や衣服等様々な場面で、ご自身で選んだり決めて頂けるよう支援し、職員側で決定したり、押しつけたりしないよう心がけている。また、ご利用者と過ごす時間を通して得たお一人お一人の希望、関心事、嗜好を記録し、把握に努めている。 | | |
| 39 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ①各々の御利用者の希望を訪ねたり、体調や気分等に配慮しながら、ご本人のペースで生活して頂けるよう支援している。 ②日常生活としての1日の流れはほぼ決まっているが、ご利用者のその時の体調や気分等に配慮しながらご本人の気持ちを尊重し、ご本人のペースで生活して頂けるよう、できるだけ個別性のある支援を行うようにしている。 | | |
| 40 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ①衣服等を購入する際は、ご本人も一緒に選んでいただくようにしている。また、外出・行事等は、いつもよりおしゃれな装いで参加して頂けるよう支援している。行きつけの理容室では、カット、顔そり等ご本人の希望に応じ、お化粧品もされる。 ②外出・行事など、その場面に合わせ、いつもよりお洒落な装いで参加して頂けるよう支援している。また、行きつけの理容室ではご本人の希望に合わせたカット、毛染め、お化粧品をしてもらっている。衣服等を購入する際は、ご本人も一緒に選んで頂くようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | (18) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | <p>①献立の食材は、給食センターから届けられるが、少しでも好みに合うように、焼き方、和え方を工夫している。準備は個々の力に応じて、下ごしらえ、盛り付け、お茶入れ、洗物、食器拭き等を楽しみながら行っている。</p> <p>②献立や材料は、基本的には栄養士の指導のもと給食センターから届けられるが、ご利用者の食欲を高めるよう味付けや盛り付け等に配慮している。また、体調にあわせて個別メニューにしたり、季節や行事(お誕生日者のリクエストメニュー等)にあわせたメニューに変更したり、外食も取り入れている。調理や片付け等はご利用者のご意向で手伝って頂き、職員も同じ食卓を囲み食事を楽しんで頂けるよう心がけている。</p> | <p>献立の材料は隣接する給食センターから届き、利用者の好みに合わせて調理方法に工夫している。利用者は職員と一緒に味付け、盛り付け、食事、片付けをして、食卓を囲み食事を楽しんでいる。誕生日のリクエストメニューや行事食、外食なども取り入れ食事を楽しむことができるよう支援をしている。</p> | |
| 42 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | <p>①食事・水分摂取量は、毎回、毎日記録し、栄養バランスは管理栄養士のチェックがある。個々の状態に応じて、摂取量が少ない時は、Dr. へ相談している。</p> <p>②食事・水分摂取量を毎日、業務日誌と介護記録に記入し、職員全員が確認するようにしている。摂取量が少ない時にはご本人の状態や嗜好に合わせた食べ物・飲み物を個別に提供し、十分な栄養や水分確保が出来るように支援している。また、ご利用者の嗜好を介護記録に記入し職員は把握に努めている。</p> | | |
| 43 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | <p>①ご利用者の力量に合わせて必要な部分を介助して毎食後の声かけにて、歯磨き、義歯洗浄、うがいをして頂いている。義歯は毎日、夕食後、洗浄剤で消毒している。</p> <p>②毎食後、歯磨き・義歯洗浄・うがいなど個別に声かけしご本人のお手入れを見守ったり、職員が不快な箇所をお聞きしたりしながら、ご利用者の力量にあわせ必要な部分を介助している。義歯は週2～3回、夕食後、義歯洗浄剤で消毒し、口腔内の清潔保持に努めている。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | (19) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | ①紙おむつをされている2名の方は、できる限り、トイレ内で見守りと介助をするようにしている。食事前は、必ずトイレ誘導している。 ②排泄の失敗やおむつの使用を減らす為に、排泄記録表を作成し、1人ひとりの排泄パターンを把握した上でトイレ誘導、行動観察等を行い、ご利用者のサインを見逃さないようにしている。また、なるべくトイレで自力排泄できるように、腹部マッサージを行ったり水分摂取量の管理に努めている。使用するパッドや紙パンツについて状態にあわせて随時、見直しをしている。 | 排泄記録表を作成しパターンを把握して、利用者一人ひとりに合わせて、適切にトイレ誘導して日中はトイレで排泄できるよう支援している。 | |
| 45 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ①水分補給の声かけや、毎日の排便チェックを行っている。1日の水分摂取量を計測したり、毎日の生活に体操や散歩を取り入れたりしている。入浴時にお腹辺りのチェックをしている。 ②水分補給の声かけや、毎日の排便チェックを行っている。体操、散歩などで身体を動かして頂き、一人ひとりの状態に応じ、トイレ同行時に腹部マッサージを行ったり、かんでもらうよう声かけし、自然排便を促すようにしている。緩下剤使用開始前や増量前にご家族と相談し、オリゴ糖を採り入れ、それでも自然排便が難しいご利用者には緩下剤を医師の指示のもと状態にあわせて調節しながら服用して頂いている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | (20) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | <p>①入浴は、日・木曜日以外の14時半～18時に実施しており、入浴希望や順番はご本人の意見を聞いて、不公平にならないように配慮している。湯加減、湯量も好みがあり、入浴剤を入れてくつろいで頂けるようにしている。</p> <p>②入浴は日曜を除く毎日15時～17時半に実施しており、入浴順番を気分や体調を考慮しながら変えている。日曜日は清拭を行ない、便汚染時などは随時、シャワー浴を行っている。入浴を嫌がられるご利用者には、言葉かけや対応の工夫をしチームプレイ等によって入浴して頂けるよう努めている。また、個々の好みの湯加減や湯量に調整したり、ゆずやみかん、入浴剤等を入れ季節を感じたり、くつろいでいただけりよう心がけている。</p> | 14:30から18:00頃まで、利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴している。入浴を嫌がる利用者には声かけの工夫や入浴剤を利用するなどして、くつろいで入浴が楽しめるように支援している。 | |
| 47 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | <p>①入居者の睡眠パターンに合わせて、就寝起床の支援を行っている。就寝前に温かい飲み物を飲んで頂き、安心して気持ちよく眠れるように支援している。</p> <p>②1人ひとりの睡眠パターンを把握し、居室の明かり、温度、生活習慣等を個別に支援している。希望に応じ、食後30分は臥床を勧めたり、疲れが見受けられるご利用者には休息をとっていただけるよう配慮している。また、1日の生活リズム作りをしても夜間眠れないご利用者はご家族とも相談しながら専門医に受診している。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ①個々の既往歴、現在の健康状態、治療状況、副作用等は、個々ファイルを通じて、全職員が把握するように努めている。服薬は、手渡しで飲み込みを確認する。 ②薬は、一人ひとりの薬箱があり1回分ずつ管理者が責任を持って、分けて入れている。薬箱のふたに薬名、目的や用法・用量・副作用について記載されている紙を貼っている。ご利用者の服用薬をまとめた薬ファイルがあり、職員が内容を把握するようにしている。服薬時は、確実に服用していただけたか見届けるよう努めている。また、ご利用者の状態や経過に変化があれば医師に報告し指示を仰ぐようにしている。 | | |
| 49 | (21) | ○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ①生活歴や好きな事等をできるだけ理解し、個々の生活に張合いが持てるように外出、買い物での楽しみを増やしたり、食事作り、お茶入れ、掃除、洗濯物干し等で活躍できる場面づくりをしている。 ②ご利用者一人ひとりの生活歴や好みに合わせ、掃除やお茶入れ、調理、食器洗い、洗濯干し等のお手伝いをお願いし活躍して頂いている。また、お花見やお正月、誕生日会などの行事の際やおやつに、ご利用者の嗜好品を採り入れたり、お酒を振舞ったりしている。 | 干し柿づくり、梅ジュース、らっきよ漬、生花、調理、掃除、レース編みなど活躍できる場面づくりや、貼り絵、絵手紙、新聞、季節の行事、家族会での母の日、敬老会、ボランティア(話し相手、フルートとチェロ演奏、キーボード演奏)や小学生との交流などの楽しみごとや気分転換の支援をしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | (22) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | <p>①日曜日と木曜日は、天気が良ければ、お地蔵様へのお参りや、ドライブ、スーパーへの買い物、ペットショップ見学等に、できるだけ希望にそって、外出への支援をしている。ご家族の協力が得られる方には、お願いしています。</p> <p>②日曜日には買い物に出かけるようにし、月1～2回程度は苑外レクリエーション、外食等で出かけている。地域の行事にも積極的に参加し、天気と相談しながら随時、公園の花壇の水やりに行ったり、隣の施設のお地蔵様にお参りしたり、短時間でも戸外に出る機会を作り、散歩に出かけ楽しい時間を提供できるように心がけている。日常会話の中でご利用者が「～に行ってみたいね」と言われた所に苑外レクリエーションなどで行くようにしている。普段行けないような場所への外出支援はご家族にも協力を頂き、支援している。</p> | 散歩、買い物、公園の花壇の水やりなどの日常的な外出や、どんど焼き、納涼祭、区民芸能祭、地蔵まつりなどの地域の行事に参加したり、初詣、節分祭、季節の花見(桜、つつじ、菖蒲)等多くの外出支援をしている。家族の協力を得て外食を楽しむこともある。 | |
| 51 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | <p>①お金の所持については、一人一人の状態に応じて、ご家族と相談して所持して頂いています。</p> <p>②ご利用者の希望や有する力を考慮し、ご本人やご家族と相談しながら金銭所持・使用の支援を行うようしている。ご家族よりお金を預かり、事務所で管理しているご利用者には力に応じ、お買い物の際にはお財布をお渡ししご自分で支払ってもらう等の工夫をしている。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ①ご利用者が希望される時は、ご協力頂けるご家族には電話をかけ、プライバシーに配慮しながらお話して頂けるよう支援している。 ②ご利用者が希望される時は、ご協力頂けるご家族には電話をかけ、プライバシーに配慮しながらお話して頂けるよう支援している。絵手紙の作品や年賀状、暑中見舞いをご家族に送ったりしている。 | | |
| 53 | (23) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ①ホーム内の温度や明るさは、適度に調整している。換気にも気をつけ、廊下には椅子を置いたり、壁には直近の行事の写真をはったり、季節の花を飾ったりして居心地良く過ごせるようにしている。 ②共同の空間は、家庭的な雰囲気と季節感を感じる事ができるよう、季節に合った貼り絵や絵手紙、塗り絵をして頂き、壁に飾っている。行事等で撮った写真を飾ったり、花や季節の小物をご利用者と相談して飾ったりし、ご利用者にとって安心感のある場所になるよう努めている。また、BGMにヒーリングミュージックを流し、リラックスして頂けるよう配慮している。季節感を感じられるおやつや飲み物(ゆず茶や梅ジュース等)、食事メニューを取り入れ楽しんでもらえるように工夫している。 | 共用空間は明るく、貼り絵や絵手紙の作品を飾り、クリスマスツリーや観葉植物を置いて、利用者はゆったりと過ごしている。窓からは公園や幼稚園が見えて和やかな生活感があり、談話コーナーには、テーブルや椅子、ソファがあり居心地良く過ごせるよう工夫している。 | |
| 54 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ①フロアにソファを設置し、気の合ったご利用者同士で談笑したり、テレビを観たりされている。また、窓辺に石を置いて、外をのんびり見ていられるようにしている、思い思いに過ごせる居場所になるよう努めている。 ②リビング・廊下・談話室・窓際、それぞれに椅子やソファを設置し、ご利用者の方々が気分や状態に応じて思い思いに過ごす場所を選べるように配慮している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 55 | (24) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ①ベッド、タンス、椅子等の備品はあるが、使い慣れたソファや生活用品、飾り物などを持ち込んで頂いて、居心地良く過ごして頂けるよう努めている。 ②ご利用者が安心して過ごせるよう、使い慣れた家具や馴染みのある生活用品や装飾品・仏壇・鏡台・テーブルセット等を持ち込んで頂いている。ご家族との写真などを飾り、入り口にはご利用者の顔写真とお名前を貼り、個々の居心地の良い居室になるよう工夫している。全ての居室に、大きな掛け時計を設置している。 | 居室には三方に手すりがあり、床頭台やタンスを備品として設置している。仏壇、鏡台、テーブルセットなどを持ち込み、ぬいぐるみ人形を多数飾ったり、居心地良く過ごせるよう工夫している。 | |
| 56 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ①ベッドの高さや位置、向きも個々の身体機能を考慮して決めている。シルバーカーを利用して頂いている方もいる。ご利用者のできる力、わかる力を活かせるよう環境づくりに努めている。 ②居室はご利用者の身体状態に合わせ模様替えなどを行い、ご利用者の活動性を維持できる事を考えシルバーカーを利用して頂いている方もいる。ベッドの高さや位置、向きも個々の身体機能を考慮して決めている。混乱や失敗を起こされた際には、職員間で報告・話し合いを行い、不安材料を取り除けるよう取り組み、ご利用者のわかる力を活かせるよう環境作りに努めている。 | | |

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームあつぷる

作成日：平成 24年 7月 7日

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 | 応急手当や初期対応の定期的訓練の実施が出来ていない | 自施設が作成している対応マニュアルを使って、1ヵ月1項目を全職員が訓練を行う | あつぷる1 ●意識喪失(トイレ、浴槽内)、誤嚥、鼻出血、火傷の5項目を順に1ヵ月、1項目で行う。期間内は繰り返し行い、身に付くようにする。●夜勤のみの職員も含め、1か月に1回以上訓練できるよう、日時を設定訓練した日を記入する表をつくる。 あつぷる2 ●月1度のミーティングの際、訪問看護師に自施設のマニュアルに沿った、応急手当や初期対応の実技指導を受ける。●ミーティングに参加できなかったスタッフには、参加したスタッフが指導する。 | 18か月 |
| 2 | 35 | 〃 | 救急救命法を身につける | ●年に1度、消防署による普通救命講習を受ける。 | 18か月 |
| 3 | 24 | ご利用者ひとりひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めるようにしているが、記録の整理ができていない | ご利用者ひとりひとりの思いや意向についての記録の整理を行い、全職員が情報を共有し、日々の支援に活かせるようにする。 | あつぷる1 ●センター方式のC-1-1-2私の姿と気持ちシート、B-3私の暮らし方シートを使用し、記録の整理を行う●月1度のミーティング内のカンファレンスの際に、記録内容を確認し把握に努める●記録内容をご利用者の日々の生活の支援に取り入れ活かしていく あつぷる2 ●ご利用者スタッフに話された事(つぶやき等)を記録する。●入浴時にご利用者一人ひとりにゆっくり話をお聞きする時間を作るよう努める。●新たに得た情報も記録していく。●嗜好品や飲み物の温度の好み等すでに把握している事も個人個人の介護記録に記録する。 | 18か月 |
| 4 | 45 | あつぷる2 便秘予防に体操を取り入れているが、体操内容がマンネリ化している | 新たな体操等を取り入れ、ご利用者に楽しみながら便秘予防とADLの維持向上をして頂けるよう支援する。 | ●新たな体操をリクリエーションの時間に行う。 | 18か月 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。